

金沢美術工芸大学

KANAZAWA COLLEGE OF ART

社会連携研究成果報告書 2014

人に夢を。  
地域に活力を。  
ビジネスに未来を。

金沢美大の創造力を、  
あなたの事業に  
お役立てください。

金沢美術工芸大学では、地域連携センター・産学連携センターを拠点に、広く企業や研究機関・公共団体などとの連携活動を推進しています。

## POLICY 理念

金沢美術工芸大学は社会貢献を、教育と研究に並ぶ大学の使命と位置づけ、地域連携・産学連携を通して積極的に社会貢献を行います。

1. 本学の持つ美術工芸分野の専門知識や技術、社会連携で得られた成果を広く社会に還元します。
2. 地域の産業と積極的に連携を図り、地域社会の活性化に貢献します。
3. 社会との連携活動を体験することで、より実践的に社会に寄与できる人材を育成します。

## SYSTEM 活動体制

テーマの規模や内容、状況に応じて、様々な研究方法・スタイルを準備しています。詳細はお問い合わせください。

### 研究制度

#### 共同研究

企業や教育機関より研究者・研究経費等を受け入れ、共通の課題について対等な立場で研究を行う制度

#### 受託研究

企業等から委託を受け、委託者の負担する経費で研究を行い、その成果を委託者に報告する制度

### 研究体制

#### 授業課題導入型 プロジェクト型（課外活動型）

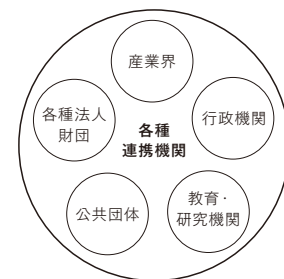
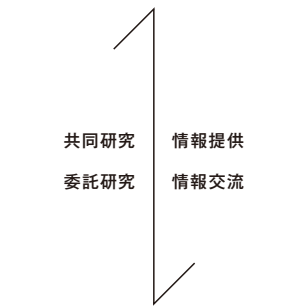
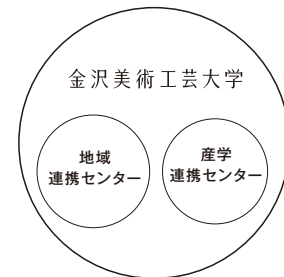
専任教員の指導により研究を推進。学生の新しい視点での発想、現実性の高い成果が期待できます。

#### プロフェッショナル型

専任教員との研究。ハイレベルで実践的な研究成果が期待できます。

## NETWORK 社会連携

他大学・研究機関とのパートナーシップを深め、実現性の高いハイクラスの研究を推進します。



## FLOW 活動の流れ

以下のような、求められる課題や相談に対し、よりよき成果をめざして、確かな体制と綿密プロセスをベースに研究を進めています。

■ 商品の企画・開発にデザインを利用したい

■ CI・ブランド開発にデザインを活用したい

■ マーケティングにデザインを活用したい

■ 店舗・施設の開発にデザインを活用したい

■ 伝統工芸の専門技術の商品開発に活用したい

■ 美術（芸術）分野の専門知識を商品開発に活用したい



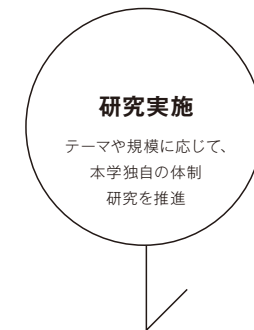
- ・研究目的
- ・研究体制・研究方法
- ・研究期間・研究予算
- ・研究成果予測
- ・その他事務手続き等



- ・経費明細
- ・支払条件等



- ・知的財産権の取扱い
- ・研究成果の公表時期
- ・機密保持に関する取り決め等



- ・オリエンテーション
- ・調査
- ・研究・デザイン制作等
- ・プレゼンテーション
- ・試作
- ・製品化等

事例に応じた研究内容をご用意できます。



- ・研究成果報告書の作成
- ・特許等の出願・契約等の締結

## FIELD 活動領域

美術・工芸・デザインから芸術学まで、本学に蓄積された有形無形の資産をベースに、気鋭のプロフェッショナル達がハイレベルの研究活動を推進します。

本学の専任教員は、それぞれが独立したプロの作家、デザイナー、研究者です。活躍する分野はもちろん、年齢、経歴、ネットワークも様々な人材が、才能にあふれる学生たちとともに連携事業の研究活動を推進します。

### 美術系

日本画 / 油画 / 彫刻 / 芸術学

### デザイン系

視覚デザイン / 製品デザイン / 環境デザイン / ファッションデザイン

### 工芸系

陶磁 / 漆・木工 / 鍍金・彫鍍金 / 染・織

### 専門領域分野

ヴィジュアルコミュニケーション  
広告デザイン  
サインデザイン  
映像・メディアデザイン  
Web デザイン  
パッケージデザイン  
ユニバーサルデザイン  
インターフェイスデザイン  
情報機器デザイン  
輸送機器デザイン  
家具デザイン  
生活関連用品デザイン  
都市計画デザイン  
建築デザイン  
インテリアデザイン  
ディスプレイデザイン  
ランドスケープデザイン  
ファッションデザイン  
テキスタイルデザイン  
陶芸  
漆芸  
木工  
彫鍍金  
鍍金  
染織  
モニュメント  
壁画  
材料・修復

学生 1000 人当たりの地元企業などとの共同・委託研究数ランキング

順位	大学名	大学種別	都道府県	1000人当たりの数値	地元研究数
1	豊田工業大学	私立	愛知県	65.7	32
2	東京医科歯科大学	国立	東京都	58.0	165
3	東京工業大学	国立	東京都	55.4	548
4	帯広畜産大学	国立	北海道	49.7	64
5	岩手県立大学	公立	岩手県	32.5	70
6	豊橋技術科学大学	国立	愛知県	32.0	70
7	産業医科大学	私立	福岡県	30.6	33
8	信州大学	国立	長野県	28.9	328
9	金沢美術工芸大学	公立	石川県	27.6	20
10	松本大学	私立	長野県	26.4	40
11	神戸市看護大学	公立	兵庫県	25.0	11
12	名古屋工業大学	国立	愛知県	24.6	142
13	電気通信大学	国立	東京都	23.5	125
14	富山県立大学	公立	富山県	23.0	27
15	東京農工大学	国立	東京都	22.5	131

学生 1000 人当たりの開発した商品・サービス数ランキング

順位	大学名	大学種別	都道府県	1000人当たりの開発商品数	開発商品・サービスの数
1	金沢美術工芸大学	公立	石川県	29.0	21
2	和洋女子大学	私立	千葉県	23.0	60
3	長野大学	私立	長野県	12.0	13
4	岩手県立大学	公立	岩手県	9.3	20
5	神戸芸術工科大学	私立	兵庫県	9.2	16
6	東北公益文化大学	私立	山形県	9.2	6
7	宇都宮大学	国立	栃木県	8.7	45
8	松本大学	私立	長野県	8.6	13
9	奈良女子大学	国立	奈良県	8.4	6
10	東京情報大学	私立	千葉県	8.4	16
11	長岡技術科学大学	国立	新潟県	7.5	18
12	前橋工科大学	公立	群馬県	6.4	8
13	福岡女子大学	公立	福岡県	6.4	6
14	相愛大学	私立	大阪府	5.5	7
15	豊橋技術科学大学	国立	愛知県	5.0	11

053 >> 063

- 053 のと鉄道 笠師保駅 リニューアルプロジェクト 5
- 054 金沢市立病院 西病棟水回り空間創生事業 6
- 055 金澤町家プレート設置事業計画 7
- 056 日本乳がんピンクリボン運動の各種デザインの提案 8
- 057 金沢の食文化の魅力を発信するための広報企画の提案・制作 9
- 058 新幹線開業気運醸成に関する広報物の企画・デザイン等の提案・制作 10
- 059 ホスピタリティアート・プロジェクト 第 16 回 光の回廊シリーズ (その6) 「南からの風」ワークショップ・作品展示 11
- 060 都心軸沿道における装花のデザイン 12
- 061 片町A地区市街地再開発事業工事における仮囲いの装飾デザイン制作 13
- 062 金沢エコフェスタ2014エコアート出展事業 14
- 063 北陸銀行 ウィンドウおよび店舗 作品展示 15

出典 : 日経グローバル No.236 2014 1/20 大学地域貢献度調査から

# 053

## のと鉄道 笠師保駅 リニューアルプロジェクト



のと鉄道活性化事業の一環の中で、無人駅の「笠師保駅／恋火駅」を観光客が集う駅にリニューアルしようという目的から、学生ならではのデザインの視点を取り入れるため、金沢美大視覚デザイン、環境デザインが中心となって、ブランディングコミュニケーション及び笠師保駅改築デザインを提案した。

限られた予算のなか、のと鉄道の求めている駅舎に改築するためには、3年間という継続のスパンで改築を進めねばならないという条件で、1年目ーブランディング及びサインデザイン作業 2年目ーエクステリア及び待合室改修作業 3年目ー駅舎インテリア改修作業という段階を踏み、継続した作業が行われている。なお、駅舎リニューアルデザイン作業の他に、駅表示デザイン、笠師保駅照明デザインの依頼を受け合わせて作業を進めた。



リニューアル以前の笠師保駅



ファサードロゴ取り付け風景



待合室照明デザイン



恋火駅サインデザイン

【開発日程】	
2013年	
2月	第1回ミーティング及び現地笠師保駅周辺現地調査
3月	笠師保駅周辺駅舎及びのと鉄道リニューアルブランディング提案
6月	笠師保駅リニューアルデザイン再提案
7月	笠師保駅別名恋火駅サインデザイン提案
2014年	
4月	笠師保駅リニューアルデザイン外壁作業
5月	完成
10月	笠師保駅待合室内装工事及び照明(サンケン電気)打ち合わせ
11月	のと鉄道駅表示デザイン提案
12月	照明デザイン審査
2015年	
2月	照明取り付け作業
5月	笠師保駅リニューアルデザイン完成セレモニー

【委託者】	
のと鉄道株式会社	
【期間】	
1期	2013年4月1日   2014年3月31日
2期	2014年4月1日   2015年3月31日
3期	2015年4月1日   2016年3月31日
【研究体制】	
プロジェクト型	
【担当教員】	
後藤 徹 教授	デザイン科 視覚デザイン専攻
坂本 英之 教授	デザイン科 環境デザイン専攻
【参加学生】	
1期	
佐々木 耕平	視覚デザイン専攻 4年
松坂 理恵子	視覚デザイン専攻 4年
上原 千歩	環境デザイン専攻 4年
横山 紗希	環境デザイン専攻 4年
2期	
石原 裕樹	環境デザイン専攻 2年
谷 清風	環境デザイン専攻 2年
戸出 彩子	環境デザイン専攻 2年
新田 梨佳	環境デザイン専攻 2年
青柳 菜子	環境デザイン専攻 1年
佐藤 優子	環境デザイン専攻 1年
西川 啓	環境デザイン専攻 1年
端 宥輔	環境デザイン専攻 1年

# 054

## 金沢市立病院 西病棟水回り空間創生事業



【委託者】	
金沢市立病院	
【期間】	
2014年4月ー2015年3月	
【研究体制】	
プロジェクト型	
【担当教員】	
坂本 英之 教授	デザイン科 環境デザイン専攻
安島 諭 教授	デザイン科 製品デザイン専攻
山本 健史 教授	工芸科専攻
畝野 裕司 准教授	デザイン科 環境デザイン専攻
【参加学生】	
高井 良未波	環境デザイン専攻 1年
平川 美帆	環境デザイン専攻 1年
岩佐 悠子	大学院工芸専攻修士課程 1年
【開発日程】	
2014年	
1.	現場検証&ヒアリング
2.	世界のサインリサーチ
3.	ラフスケッチによる方向性の確認
4.	ラビッド案にて現場検証
5.	最終デザイン提出
【陶板制作過程】	
1.	現場での打ち合わせを元に10センチ角の基本レイアウトを基準に、どのようなタイルを選択するか検討した。
2.	タイルメーカーの関係者に相談し、通常は市販されていない素焼きのタイルを発注することができた。比較的大きな図柄を想定しているため20センチ角のタイルを選択。
3.	図柄の検討と決定。
4.	色や着彩方法のテスト。型を用いてスポンジなどで淡い色調を重ねていく手法を前提にする。色彩は予めテストを重ねて確認しておく必要がある。
5.	絵付けと施釉。
6.	焼成。タイルの焼成温度と、絵の具の適正温度が微妙にずれたため焼き直しを行った。
7.	目地の色の選択と取り付け。

金沢市立病院と金沢美大の連携協定によるホスピタリティアートのひとつのパートとして2011年から活動をしている。病院における施設設備の改修、とくに洗面・トイレ・浴室等水廻りの改修を通じて、アート・デザイン・工芸ができることを探っている。

今年度は6階西病棟の水廻り改修にあたり、全体のデザイン監修とインテリア及び人間工学的デザインを、デザイン科環境デザイン専攻の坂本研究室と同製品デザイン専攻の安島研究室が担当、陶板の制作を工芸科陶磁の山本研究室、サイン計画をデザイン科環境デザイン専攻の畝野研究室が担当した。



打ち合わせの様子



トイレのサインデザイン





# 055

## 金澤町家プレート設置事業計画



金澤町家の所有者等に誇りと愛着を高め、市民に対し金澤町家が金沢市の歴史・伝統及び文化を伝える貴重な資産であることを意識啓発させる方策として、金澤町家再生活用事業で再生活用された金澤町家に対して、事業認定町家プレートの設置を義務付ける。その際に使用するプレートのデザインの研究開発である。



町家の例



町家プレート 最終決定案2



町家 1



町家 2

【委託者】  
金沢市歴史建造物整備課

【期間】  
1期  
2014年4月1日—2015年3月31日

【研究体制】  
プロジェクト型

【担当教員】  
坂本 英之 教授 デザイン科  
環境デザイン専攻

【参加学生】  
上原 千歩 環境デザイン専攻 4年  
加賀谷 真美 環境デザイン専攻 4年  
林 瑠璃子 環境デザイン専攻 4年  
石原 裕樹 環境デザイン専攻 2年  
谷 清風 環境デザイン専攻 2年  
仲津 祐哉 環境デザイン専攻 2年  
新田 梨佳 環境デザイン専攻 2年

【開発日程】

2014年

6月25日 キックオフミーティング  
プロジェクト趣旨説明

7月4日 町家視察

7月中旬—下旬  
デザイン作業

8月4日 学内アイデアプレゼンテーション・意見交換

8月26日 中間プレゼンテーション  
意見交換

9月20日 デザイン完成  
プレゼンテーション

10月—11月  
デザイン公表

11月—12月  
プレート制作

2015年

1月—2月  
各戸へ配布・設置依頼

# 056

## 日本乳がんピンクリボン運動の 各種デザインの提案

平成25年度に実施したプロジェクトが好評だったため、今回も継続して依頼を受けた。昨年とは異なりTシャツのみの提案となったが、油画的な学生とデザインの学生の専攻、分野を横断した参加により貴重な教育の場になった。



【委託者】  
株式会社北國新聞社

【期間】  
2014年6月9日—2015年3月31日

【研究体制】  
プロジェクト型

【担当教員】  
真鍋 淳朗 教授 美術科油画専攻  
角谷 修 教授 デザイン科  
環境デザイン専攻

【参加学生】  
河邊 実生子 油画専攻 3年  
田中 史哉 油画専攻 3年  
戸出 彩子 環境デザイン専攻 2年  
仲津 祐哉 環境デザイン専攻 2年  
三上 彩 環境デザイン専攻 2年

【開発日程】

2014年

6月18日 デザイン案の方向性協議

7月3日 各自のデザイン案提示と  
絞り込み

7月17日 デザイン案再提出と  
プレゼン準備

8月7日 実行委員会への  
最終プレゼン

8月—9月上旬  
データ内での調整

9月28日 メッセージウォーク2014  
でのお披露目



実行委員会への最終プレゼンテーション



実行委員会への最終プレゼンテーション



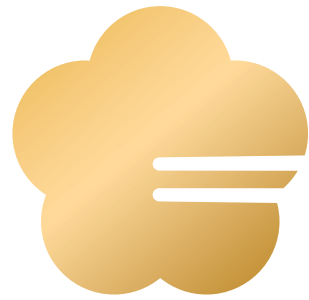
メッセージウォークの様子



メッセージウォークの様子

# 057

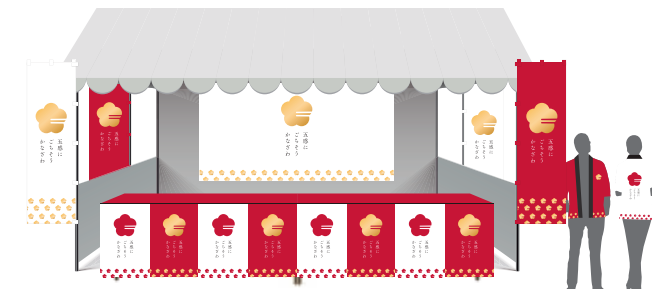
## 金沢の食文化の魅力を発信するための 広報企画の提案・制作



五感に  
ごちそう  
かなざわ

2013年10月に「金沢の食文化の継承及び振興に関する条例」が施行されたことを契機に、金沢の食文化の魅力を積極的、効果的に内外に発信するためのマーク及びスローガン制作を依頼された。

「五感にごちそうかなざわ」見る、触れる。香る。聴く。味わう。そのすべてをひっくり返して「食べる」と考えると、金沢の食文化の豊かさがある。素材の良さ。高度な調理・加工技術。それらを供する器や空間。美しい作法やしつらえ。さまざまな角度から食べる人をもてなす、この街の食文化がより豊かなものになることを願って、つくられたスローガン。



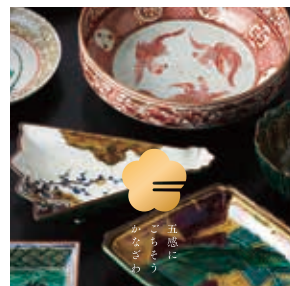
イベント会場イメージ



海の幸



作法・しつらえ



うつわ

【委託者】  
金沢市役所 商業振興課

【期間】  
2013年12月～2015年3月31日

【研究体制】  
プロフェッショナル型

【担当教員】  
寺井 剛敏 教授 デザイン科 視覚デザイン専攻  
宮崎 晋 客員教授 デザイン科 視覚デザイン専攻

【参加学生】  
視覚デザイン卒業生チーム

【開発日程】

2014年

1月31日 金沢の食文化推進委員会（仮称）準備会合

8月20日 第一回金沢の食文化推進委員会・情報発信部会

12月25日 第二回金沢の食文化推進委員会・情報発信部会

2015年

2月19日 第三回金沢の食文化推進委員会・情報発信部会

3月02日 ログマーク発表

# 058

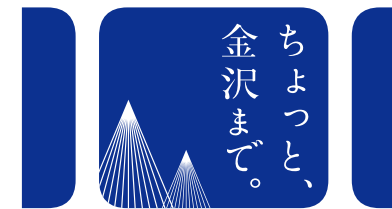
## 新幹線開業気運醸成に関する 広報物の企画・デザイン等の提案・制作

2015年3月14日北陸新幹線開業に向けて、2012年から市民及び首都圏へ向けてPRするためのロゴマーク及びキャッチフレーズの制作を金沢市より依頼を受けた。

ロゴマークは、金沢に到着する新幹線の車窓が見える風景をデザイン、「雪吊」を金沢の象徴としてあしらいつつ、金沢で過ごすひとときへ、旅行者の期待感を膨らませることを目指した。ロゴカラーは、新しい金沢ふさわしい「プレミアムブルー」。古くから、手に入りにくい高級・高貴な色とされ、成翼閣の天井にも使用されている群青色をもとに制作。



北陸新幹線開業



北陸新幹線開業



新幹線が  
春を連れて  
やってくる。

2015年3月14日  
北陸新幹線開業



【委託者】  
金沢市役所  
企画調整課/プロモーション課

【期間】  
2012年12月～2015年3月31日

【研究体制】  
プロフェッショナル型

【担当教員】  
寺井 剛敏 教授 デザイン科 視覚デザイン専攻  
宮崎 晋 客員教授 デザイン科 視覚デザイン専攻

【参加学生】  
視覚デザイン卒業生チーム

【開発日程】

2012年

12月 定例会議

2013年

1月ー スローガン及びロゴマークデザイン案検討

2月下旬 ログマーク最終案決定

3月1日 ログマーク発表

4月ー2014年3月 プロモーション課を中心に色々なアイテムへロゴマークを展開

2014年

4月ー2015年3月 新幹線開業に向け金沢市内にフラッグを展開





# 059

## ホスピタリティアート・プロジェクト 第16回 光の回廊シリーズ(その6) 〈南からの風〉ワークショップ・作品展示



金沢市立病院と金沢美術工芸大学との連携により、医療分野におけるアートの潜在的な可能性を探求する事を目的とした「ホスピタリティアート・プロジェクト」第16回企画として、今年度の光の回廊シリーズ(その6)ワークショップ・展示は、〈南からの風〉と題し実施された。病院1階待合ホール大ガラスに患者、医療者、学生の協働によりステンドグラス風の装飾を施されるこのワークショップ・展示企画は、病院の恒例行事のように関係者および地域社会に受け入れられている。図案会議に始まり、大学での下準備、ワークショップ、展示、撤収に至るまでを例年通り無事に終えることができた。

今年度も成功裏に終えることができた要因は、これまでの金沢美術工芸大学と市立病院との連携もさることながら、協力学生の献身的な尽力に依るところが大きい。また、回を重ねることに学生たちのプロジェクト実施に際してのスキルが向上している。ボランティアとして労を惜みず作業に携わる彼等の姿を見て、この活動を大学の美術教育に具体的に還元させる必要を感じている。そして市民にむけた、このプロジェクトの周知にも力を入れたいと思う。



原画



ステンドグラス制作



光の回廊



ワークショップ

【委託者】	金沢市立病院
【期間】	ワークショップ 2014年8月26日 13時～16時 館内展示 2014年8月26日～2014年9月11日
【研究体制】	プロジェクト型
【担当教員】	三浦 賢治 教授 美術科油画専攻 青柳 りさ 教授 一般教育等

【参加学生】	大田 香 油画専攻 4年 小林 大地 油画専攻 4年 演出 ひかり 油画専攻 4年 早川 桜 油画専攻 4年 福井 伶奈 油画専攻 4年 山川 莉穂 油画専攻 4年 山本 翔平 油画専攻 4年 米田 貫雅 油画専攻 4年 山本 武明 油画専攻 3年 大野 三結 油画専攻 2年 中島 大河 油画専攻 2年 永井 ちなみ 油画専攻 2年 野木 麻美 油画専攻 2年 坪井 一 油画専攻 1年 藤原 保奈美 油画専攻 1年 古中 雄二 油画専攻 1年 星原 健人 油画専攻 1年 宮崎 竜成 油画専攻 1年 島 小織 修士課程絵画専攻油画コース 2年 野一色彩 修士課程絵画専攻油画コース 2年 加茂 那奈枝 博士後期課程美術工芸専攻 油画1年
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【開発日程】	2014年 6月27日 第1回企画会議 7月11日 テーマ会議 7月29日 図案会議 8月13日 「HAP T シャツ」完成 材料確認、発注 8月18日～22日 大学での制作、下準備 (ワークショップ材料・セロファンパーツ) 8月中旬 市の広報にお知らせ (市立病院発信) 8月22日 脚立、足場、コンパネ等の 資材を病院に搬入 8月24日 9:45～17:00 市立病院に集合、 ガラスシート張り替え、 カラーセロファンによる 大ガラスの装飾開始 8月25日 9:30～17:00 ステンドグラス制作 8月26日 9:30～17:00 ステンドグラス制作 13:00～16:00 ワークショップを経て完成 9月11日 15:00～ 撤収 (セロファン剥がし、資材搬出)
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

# 060

## 都心軸沿道における装花のデザイン



【委託者】	金沢市みどり花の課
【期間】	2014年5月26日～2015年3月31日
【研究体制】	プロジェクト型
【担当教員】	鏑 隆弘 教授 デザイン科 環境デザイン専攻

【参加学生】	上田 佐紀 環境デザイン専攻 4年 上原 千歩 環境デザイン専攻 4年 上山 久瑠実 環境デザイン専攻 4年 碓氷 修也 環境デザイン専攻 4年 岡田 侑里 環境デザイン専攻 4年 奥村 知恵 環境デザイン専攻 4年 加賀谷 真美 環境デザイン専攻 4年 小森 翔伍 環境デザイン専攻 4年 嶋田 紗邦子 環境デザイン専攻 4年 鈴木 早恵子 環境デザイン専攻 4年 武石 遼 環境デザイン専攻 4年 西岡 和子 環境デザイン専攻 4年 萩原 千恵 環境デザイン専攻 4年 林 瑠璃子 環境デザイン専攻 4年 藤根 あずさ 環境デザイン専攻 4年 堀 正文 環境デザイン専攻 4年 堀場 絵史 環境デザイン専攻 4年 松本 直大 環境デザイン専攻 4年 三村 絢子 環境デザイン専攻 4年 山内 朱璃 環境デザイン専攻 4年 山下 夢子 環境デザイン専攻 4年 横山 紗希 環境デザイン専攻 4年
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【開発日程】	2014年 5月26日 第1回ミーティング オリエンテーション 6月6日 第2回ミーティング プライマリー案の プレゼンテーションと 意見交換 6月13日 最終案プレゼンテーション 最終案の提案
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

金沢市では毎年、来訪者や地域住民のために、幹線道路沿いにおいて装花を行っている。新幹線開業を迎える平成26年度は、「都心軸沿道花いっぱい事業計画 & 花と緑のウェルカムロード」と題し、金沢駅から金沢21世紀美術館までの間において、沿道および拠点での装花を計画した。

金沢美術工芸大学との連携制作では、市役所としては多人数の学生の目を活用することで、これまで続けてきた装花事業に、新幹線開業という節目における新鮮な形の導入を目的としている。また大学としては、装花に関わる市役所技術者と施工を行う装花技術者との意見交換を通じ、学生の現実的なデザインスキルの向上を目的に演習授業の一部として行った。





# 061

商店街ににぎわいを創出し、金沢を代表する繁華街である片町の新たな魅力の誕生に対する期待感を醸成するため、片町A地区市街地再開発事業工事における仮囲いの装飾デザインを学生の感覚で制作し提案する。

コンペ形式で一次審査会、二次審査会を経て最終審査会で最終案を決定。審査会は片町商店街振興組合、(株)大和、(株)R・I・A、ヨシダ宣伝(株)、清水建設(株)、市街地再生課などの関係各所から選出されたメンバーで構成。デザイン決定後は施工担当のヨシダ宣伝(株)と共同で実施デザインを制作。1月下旬より施工開始し、2月初旬に完成。新しい商業施設が完成するまでの約半年間設置された。

## 片町A地区市街地再開発事業工事における仮囲いの装飾デザイン制作



仮囲い 1



仮囲い 2

【委託者】
金沢市
【期間】
2014年11月1日—2015年3月31日
【研究体制】
プロジェクト型
【担当教員】
北村 賢哉 准教授 デザイン科 環境デザイン専攻

【参加学生】
上島 未紗子 環境デザイン専攻 2年
太田 葵 環境デザイン専攻 2年
大橋 南海 環境デザイン専攻 2年
塚本 友理 環境デザイン専攻 2年
戸出 彩子 環境デザイン専攻 2年
山内 亜華里 環境デザイン専攻 2年
青柳 菜子 環境デザイン専攻 1年
城賀 俊亮 環境デザイン専攻 1年
高村 美緒 環境デザイン専攻 1年
東郷 りん 環境デザイン専攻 1年
南 啓佑 環境デザイン専攻 1年
吉田 鈴 環境デザイン専攻 1年

【開発日程】
2014年
11月17日 キックオフミーティング
12月1日 中間検討会1
12月15日 一次審査会
12月16日 審査結果フィードバック
12月19日 中間検討会2
12月25日 最終検討会
2015年
1月7日 施工打合せ1
1月13日 施工打合せ2
1月20日 施工打合せ3
2月7日 完成



仮囲い 3



仮囲い 4

# 062

## 金沢エコフェスタ2014エコアート出展事業

エコに取り組む金沢市のイベントとして、毎年金沢市環境局が主催する「金沢エコフェスタ 2014 エコアート展」に金沢美術工芸大学視覚デザイン1年生が制作した段ボール作品を、金沢駅地下もてなしドームで展示した。デザインが関われるアクションとして、小学生エコポスターコンクールに後藤教授が審査委員長、エコライブコンサート、ダンボールのお面を作るという子供達へのワークショップなど、積極的に学生と教員が参加し、イベントを盛り上げた。



エコアート展展示風景



エコポスターコンクール表彰式

【委託者】
金沢市
【期間】
2014年8月1日—2015年3月31日
【研究体制】
プロジェクト型
【担当教員】
後藤 徹 教授 デザイン科 視覚デザイン専攻
工藤 俊之 教授 デザイン科 視覚デザイン専攻

【参加学生】
芦田 佳子 視覚デザイン専攻 1年
厚見 桃香 視覚デザイン専攻 1年
天木 詩織 視覚デザイン専攻 1年
井手尾 沙香 視覚デザイン専攻 1年
岩松 菜 視覚デザイン専攻 1年
江野畑 陽子 視覚デザイン専攻 1年
小田 文也 視覚デザイン専攻 1年
小浜 晶子 視覚デザイン専攻 1年
小林 優希 視覚デザイン専攻 1年
柴田 竜 視覚デザイン専攻 1年
島田 彩 視覚デザイン専攻 1年
高橋 彰紀 視覚デザイン専攻 1年
竹本 岳 視覚デザイン専攻 1年
田島 和哉 視覚デザイン専攻 1年
名越 菜由花 視覚デザイン専攻 1年
花木 大樹 視覚デザイン専攻 1年
古館 一步 視覚デザイン専攻 1年
松波 里菜 視覚デザイン専攻 1年
向 幸菜 視覚デザイン専攻 1年
山本 晴香 視覚デザイン専攻 1年

【開発日程】
2014年
8月 第1回ミーティング 学生エコポスター コンクール審査
9月30日 ダンボールアート完成
11月8日 エコフェスタ会場作品 搬入、設営
11月9日 エコフェスタ 「エコアート展」 小学生エコポスター コンクール表彰式 エコワークショップ エコライブ



ダンボールアート学生作品



ワークショップ風景



# 063

本学と北陸銀行は、平成22年6月に連携協定を締結し、若手作家の育成等を目的に支店の一部をギャラリーとして活用している。

連携協定にもとづく展示は、小立野支店、金沢中央支店、金沢問屋町支店などのウィンドウや店舗内を活用し、学生が各支店の展示環境等を活かした美術作品の企画・提案を行っており、まちのミニ美術館として地元の商店街や住民の方々に定着し親しまれている。

## 北陸銀行 ウィンドウおよび店舗 作品展示



bright / tight light (寄田茜)  
糸を用いたレリーフ



景色と平面 能登の千枚田 (Loup Gode)  
インスタレーション



鳥 (今西 勇太) インスタレーション



金沢中央支店での展示 (中川 暁文)



金沢中央支店での展示 (中川 暁文)

【委託者】  
株式会社北陸銀行

【期間】  
2014年4月1日—2015年3月31日

【研究体制】  
プロジェクト型

【担当教員】  
石田 陽介 教授 美術科彫刻専攻  
池田 昌一 准教授 工芸科専攻  
小松崎 拓男 教授 一般教育

【参加学生】  
高岡 暁 修士課程絵画専攻  
日本画コース 修了

今西 勇太 美術科彫刻専攻 4年  
高田 裕大 美術科日本画専攻 卒業  
中川 暁文 修士課程絵画専攻  
油画コース 2年

Loup Gode フランス・ナンシー市姉妹都市  
交換留学生

マーク・ハモンド 非常勤講師  
寄田 茜 修士課程彫刻専攻 2年  
和田 真以子 修士課程工芸専攻 2年  
米田 貴雅 美術科油画専攻 4年  
豊海 健太 修士課程工芸専攻 2年  
油画 2年有志

【展示日程】

2014年  
4月7日—6月6日  
金沢問屋町支店  
5月13日—7月21日  
小立野支店  
6月9日—8月29日  
金沢問屋町支店  
7月14日—2015年3月31日  
金沢中央支店  
7月23日—8月31日  
小立野支店  
9月1日—11月21日  
金沢問屋町支店  
9月2日—10月1日  
小立野支店  
10月2日—2015年1月12日  
小立野支店  
10月20日—2015年11月14日  
小立野支店  
11月25日—2015年2月20日  
金沢問屋町支店

2015年  
1月13日—3月31日  
小立野支店  
1月26日—3月20日  
もりの里支店

# 065 >> 074

- 065 金沢アートガイドアプリの企画・制作 17
- 066 「国宝 平等院鳳凰堂内 西面扉絵 日想観」の  
学術的復元模写による保存に関する研究 18
- 067 「アルコール離れした若者に日本酒を飲ませる  
新しいパッケージデザイン」の提案 19
- 068 水引細工を生かしたお土産品の提案 20
- 069 「大野市まいたけパッケージ」デザインの提案 21
- 070 新しい価値を持った眼鏡のデザイン 22
- 071 バイオトイレカー景観向上のためのデザイン研究 23
- 072 兼六園ガイドユニフォーム・デザインプロジェクト 24
- 073 北陸新幹線開業を祝したデザインの提案  
(金沢フォーラス) 25
- 074 伊勢丹ジャパンセンスイズキャンペーン  
宣伝演出の研究 26

# 065

## 金沢アートガイドアプリの企画・制作



金沢町屋の巡遊取材



ビールアートの第一人者である才田さんへの取材



陶芸家・魚津さんの「おしがはら工房」での取材

2015年の北陸新幹線開業にともない、金沢への観光客の増加が見込まれるなか、観光と産業の活性化への貢献を目指して金沢美術工芸大学の学生が“目利きの視点”で金沢の新たな魅力を紹介するデジタル雑誌「kanavi」を共同企画制作する。

2013年5月にデジタル雑誌の共同研究を開始、同アプリを企画した。ユーザーはアプリを用いて、雑誌を閲覧できるほか、興味を持った内容の関連サイトやgoogleマップへアクセスすることで、観光ガイドとしても活用できる。

【委託者】  
株式会社 DNP メディアクリエイト

【期間】  
2014年11月1日 - 2015年3月31日

【研究体制】  
プロジェクト型

【担当教員】  
敵野 裕司 准教授 デザイン科 環境デザイン専攻  
鈴木 康雄 教授 デザイン科 視覚デザイン専攻

【参加学生】  
2013年度メンバー  
河崎 祥子 視覚デザイン専攻 3年  
平井 秀次 視覚デザイン専攻 3年  
村上 真子 美術工芸研究科修士課程 デザイン専攻 1年

江口 広子 製品デザイン専攻 3年  
横山 舞 製品デザイン専攻 3年  
岡田 侑里 環境デザイン専攻 3年  
山内 朱璃 環境デザイン専攻 3年  
山下 夢子 環境デザイン専攻 3年

2014年度メンバー  
佐藤 凌介 視覚デザイン専攻 2年  
澤合 妙英 視覚デザイン専攻 2年  
篠田 彩音 視覚デザイン専攻 2年  
日比野 真愛 視覚デザイン専攻 2年  
水野 早希 視覚デザイン専攻 2年  
山戸 藤 視覚デザイン専攻 2年  
山本 佳奈 視覚デザイン専攻 2年  
上島 未紗子 環境デザイン専攻 2年  
大橋 南海 環境デザイン専攻 2年  
中内 萌木 環境デザイン専攻 2年  
中国 摩美 環境デザイン専攻 2年  
山内 亜華里 環境デザイン専攻 2年

【開発日程】

2013年  
5月16日 オリエンテーション 第一回ワークショップ  
7月5日 第二回ワークショップ  
8月7日 第三回ワークショップ  
9月18日 株式会社 DNP メディアクリエイト様へ 中間プレゼンテーション  
12月12日 凸版印刷様へ 最終プレゼンテーション

2014年  
6月6日 iPhone用1号 アプリケーションレビュー  
7月17日 オリエンテーション  
10月9日 第一回企画会議  
11月10日 第二回企画会議  
12月23日 第一回取材・編集・デザイン  
11月4日 iPhone用2号 アプリケーションレビュー

2015年  
2月13日 第二回取材・編集・デザイン  
4月3日 iPhone用3号 アプリケーションレビュー

# 066

## 「国宝 平等院鳳凰堂内 西面扉絵 日想観」の学術的復元模写による保存に関する研究



学術的復元模写 左扉完成図



学術的復元模写 右扉完成図

【委託者】  
宗教法人 平等院

【期間】  
2013年1月15日 - 2014年6月31日

【研究体制】  
プロジェクト型

【担当教員】  
荒木 恵信 准教授 美術科日本画専攻

【参加学生】  
後藤 淳子 大学院絵画専攻日本画コース  
中川 浩太郎 大学院絵画専攻日本画コース  
蒔苗 一雄 美術科日本画専攻  
浅野 由大 美術科日本画専攻  
田中 拓斗 美術科日本画専攻  
中條 聡 美術科日本画専攻  
本田 貴哉 美術科日本画専攻

【開発日程】

2013年  
1月15日 - 12月20日  
新たな調査結果と先行研究との解析

9月1日 - 2014年3月31日  
図様の復元と配色計画

2014  
4月1日 - 6月31日  
学術的復元模写の制作



制作風景  
天然岩絵具の緑青で山岳を彩色している。



押縁完成図  
平等院鳳凰堂の展示に活用されている。



# 067

## 「アルコール離れした若者に日本酒を飲ませる新しいパッケージデザイン」の提案



【委託者】  
凸版印刷株式会社

【期間】  
2013年5月1日—2014年3月31日

【研究体制】  
プロジェクト型

【担当教員】  
寺井 剛敏 教授 デザイン科 視覚デザイン専攻  
畝野 裕司 准教授 デザイン科 環境デザイン専攻

【参加学生】  
奥村 あづさ 視覚デザイン専攻 4年  
荒川 真里奈 視覚デザイン専攻 3年  
森田 優里 視覚デザイン専攻 3年  
松村 怜美 視覚デザイン専攻 3年  
白木 裕也 環境デザイン専攻 3年  
田中 理実 環境デザイン専攻 3年

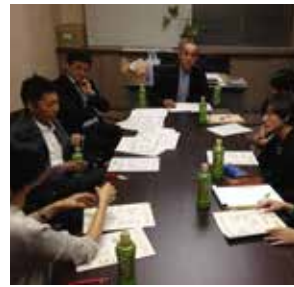
【開発日程】

2013年  
10月13日 オリエンテーション  
11月11日 学内打ち合わせ

2014年  
1月27日 凸版印刷様へ学内中間プレゼンテーション1  
2月14日 凸版印刷様へ学内中間プレゼンテーション2  
3月10日 凸版印刷様へ最終プレゼンテーション  
3月18日 月桂冠様へ最終プレゼンテーション  
9月26日 月桂冠様からの完成品報告会

アルコールばなれした若者達が自らその原因を究明すべく市場調査、ユーザー観察などを通し解決するきっかけを見つけ、日本酒が持つ心理的ハードルを下げるパッケージデザインを行った。

実際に月桂冠様に企画プレゼンテーションをさせていただく機会を経て製品化された。



オリエンテーションの様子



積極的に手を動かしながら試行錯誤を行い、最終プレゼンテーションへ挑んだ。



月桂冠様へ最終プレゼンテーションの様子。活発な質疑応答が繰り返された。



本学において月桂冠 田中様 完成品の報告を受ける。

# 068

## 水引細工を生かしたお土産品の提案



【委託者】  
株式会社 VS サポート

【期間】  
2014年4月—2015年3月

【研究体制】  
プロジェクト型

【担当教員】  
寺井 剛敏 教授 デザイン科 視覚デザイン専攻

【参加学生】  
倉持 歩 視覚デザイン専攻 3年  
新谷 花菜 環境デザイン専攻 3年  
民山 まどか 環境デザイン専攻 3年

【開発日程】

2014年  
4月24日 VSサポートにてオリエンテーション  
5月— ミーティング及び提案を定期的に行う  
6月13日 兼六園店舗調査  
8月— 最終調整及び検証  
9月30日 21世紀美術館にて商品発表

石川県の「大学との連携による授産商品開発支援モデル事業」に採択されたVSサポートより、兼六園内で限定販売する商品開発の依頼を受けた。開発にあたり、VSサポートにて就労している方々のスキルを利用して製作できるアイテムを打合せを重ねながら企画検討を進めた。途中、兼六園内の店舗視察やヒアリング等も行い、どんな商品が好まれているかなど現場の意見も確認し、最終的にコンパクトでかさばらない「懐紙」を商品化することを決定した。



# 069

福井県大野市が生産する舞茸及び加工品を販売する取り組みを支援し、販売意識の高揚と商品のイメージアップを図る。

学生と現地調査を行い両手に収まらないくらい大きな舞茸のおいしさを伝えるため試行錯誤を繰り返した。最終案は、自然豊かな九頭竜地区の田園風景をアクセントに内容物の差が明確になることと、店頭の花やかに見えるように帯の色を変えて表現した。

## 「大野市まいたけパッケージ」デザインの提案



九頭竜まいたけ



大野市 結ステーションでのオリエンテーション。  
大野市役所職員より主旨が説明される。



株式会社昇竜 舞茸工場視察。  
体育館を改装して環境設備を整えた工場を見学。



プレゼンテーションの様子

【委託者】  
中日本ハイウェイ・エンジニアリング  
名古屋株式会社 金沢支店

【期間】  
2014年4月1日—2014年12月9日

【研究体制】  
プロジェクト型

【担当教員】  
鏑 隆弘 教授 デザイン科  
環境デザイン専攻  
畷野 裕司 准教授 デザイン科  
環境デザイン専攻

【参加学生】  
奥田 亜美 環境デザイン専攻 3年  
介田 彩香 環境デザイン専攻 3年  
林 耀俊 環境デザイン専攻 3年  
谷 清風 環境デザイン専攻 2年  
林 季里 環境デザイン専攻 2年

【開発日程】

2014年  
4月11日 オリエンテーション  
8月12日 学内打ち合わせ

2015年  
3月27日 最終プレゼンテーション

# 070

福井県眼鏡協会と金沢美術工芸大学の産学連携により、日本製メガネが誇る世界トップクラスの技術力が生み出す品質や信頼性と、学生ならではのクリエイティブなデザインとを融合し、made in fukui のブランドをより新しく世界に発信する。

## 新しい価値を持った眼鏡のデザイン



「Layer3」  
レンズの重ね方でバリエーションが広がるサングラス

【委託者】  
福井県眼鏡協会

【期間】  
2014年6月—2015年3月

【研究体制】  
プロジェクト型

【担当教員】  
浅野 隆 教授 デザイン科  
製品デザイン専攻

【参加学生】  
A グループ  
佐藤 大輔 製品デザイン専攻 3年  
荒崎 紅音 製品デザイン専攻 4年  
合田 貴子 製品デザイン専攻 2年  
飯島 泰昭 製品デザイン専攻 1年  
高村 恵花 製品デザイン専攻 1年

B グループ  
鈴木 儂 製品デザイン専攻 3年  
別所 潮 製品デザイン専攻 4年  
松田 菜生子 視覚デザイン専攻 2年  
林 恒太郎 製品デザイン専攻 1年  
北条 英 製品デザイン専攻 1年

【参加学生】  
C グループ  
江口 広子 製品デザイン専攻 4年  
水口 正夫 製品デザイン専攻 4年  
伊村 拓見 製品デザイン専攻 3年  
森原 孝史 製品デザイン専攻 2年  
本山 貴大 製品デザイン専攻 1年  
小宮山 拓未 製品デザイン専攻 1年

D グループ  
村田 駿 製品デザイン専攻 4年  
西澤 実 製品デザイン専攻 4年  
森 雪子 製品デザイン専攻 3年  
楠原 領基 製品デザイン専攻 2年  
時間 翔太郎 製品デザイン専攻 1年  
山本 茉優子 製品デザイン専攻 1年

E グループ  
山本 憲吾 製品デザイン専攻 4年  
三品 拳大 製品デザイン専攻 3年  
江原 次郎 視覚デザイン専攻 2年  
浅見 日向子 製品デザイン専攻 1年  
大河内 悠 製品デザイン専攻 1年

【開発日程】

2014年  
7月16日 学内オリエンテーション  
7月28日 学内アイデア発表  
グループ分け  
8月1日— グループワーク  
8月8日 鯖江めがね工場見学  
10月6日 学内プレゼン  
10月11日 鯖江最終プレゼン  
10月20日—22日  
IOFT 出展 視察見学  
11月4日 美大祭展示



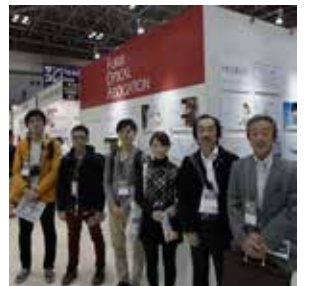
「Fraglass」  
香りをまとうアイウェア



「ZOOMEGANE」  
メガネ型自然観察用単眼鏡



「Asymmetry glasses」  
片テンプレのアイウェア

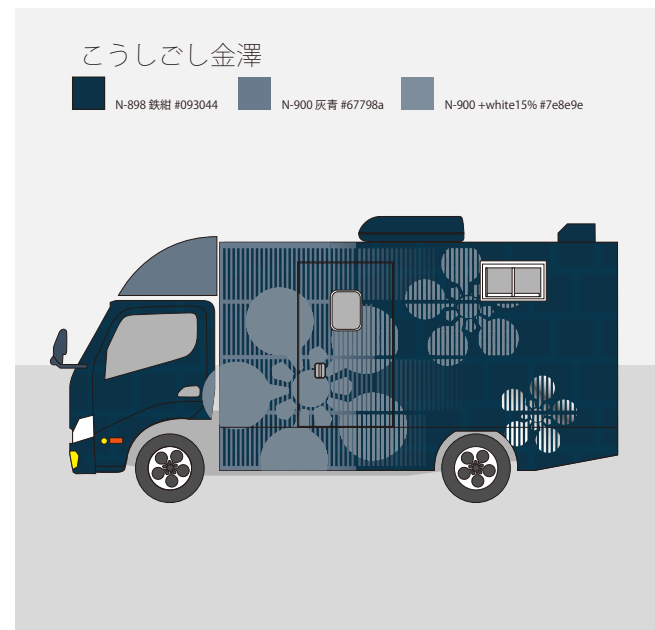


見本市視察



# 071

## バイオトイレカー景観向上のためのデザイン研究



おがくずの中の微生物による生分解を活用した搬送・設置型のバイオトイレの内外装デザインを制作した。また、この制作研究は、バイオトイレカーの製作、運用による中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社の社会貢献アピールを目的としている。

これまでの移動式トイレは、トラックに積み込み、現地で設置を行うため、時間と手間がかかっていた。バイオトイレは水洗タンク式ではないため、運搬車両に組み込んだ形態とすることができ、高速道路の渋滞時やサービスエリア混雑時におけるトイレの増設、災害時における被災地での迅速な活用が可能となった。

内外装デザインの方向性として、金沢の街並に似合い、金沢らしい特徴を持つことを確認しながら検討を行った。そのため、金沢に関わるキーワードの研究、世界の業務用車のデザイン研究、既存実車見学を通しデザインを進めた。最終段階ではバイオトイレカーの3Dモデルを街並の背景に合成し、アンケートによる検証を行った。



いろどり金沢 最終デザイン



中間報告



CG 町家の町並み



CG 六斗の広見

【開発日程】

- 2014年
- 6月27日 第1回ミーティング  
学内オリエンテーション
  - 7月18日 第2回ミーティング  
アイデア段階の  
プレゼンテーション
  - 8月21日 第3回ミーティング  
プレミナリー案の  
プレゼンテーションと  
意見交換  
防災対策車見学
  - 9月4日 第4回ミーティング  
セカンダリー案のプレゼン  
テーションと意見交換
  - 12月17日 最終案プレゼンテーション

【委託者】

中日本ハイウェイ・エンジニアリング  
名古屋株式会社

【期間】

2014年6月27日—2015年1月31日

【研究体制】

プロジェクト型

【担当教員】

鏑 隆弘 教授 デザイン科  
環境デザイン専攻

畷野 裕司 准教授 デザイン科  
環境デザイン専攻

【参加学生】

太田 葵 環境デザイン専攻 2年  
大橋 南海 環境デザイン専攻 2年  
谷 清鳳 環境デザイン専攻 2年  
林 季里 環境デザイン専攻 2年  
平川 美帆 環境デザイン専攻 1年

# 072

## 兼六園ガイドユニフォーム・デザインプロジェクト



【委託者】

協同組合 兼六園観光協会

【期間】

2014年8月—2015年3月

【研究体制】

プロジェクト型

【担当教員】

村山 祐子 准教授  
大学院デザイン科ファッションデザインコース

平塚 聖子 准教授  
大学院デザイン科ファッションデザインコース

【参加学生】

飯岡 千尋 大学院デザイン科ファッション  
デザインコース 1年

岡田 悠 大学院デザイン科ファッション  
デザインコース 1年

岡林 菜々 大学院デザイン科ファッション  
デザインコース 1年

久保木 啓太 大学院デザイン科ファッション  
デザインコース 1年

小林 未来 大学院デザイン科ファッション  
デザインコース 1年

平成27年、春の北陸新幹線の開業に合わせ、石川県の観光名所である兼六園がガイドのユニフォームデザインを30年ぶりに一新する事となった。

総勢40名近くのガイドさん達が着用するユニフォーム一式のデザイン依頼を受け、春夏物と秋冬物の2コーディネート提案した。

大勢の観光客の中に居ても一見してガイドさんと分かり、且つ浮きすぎず兼六園の風景の中にとけ込むような“兼六園らしい”デザインとのリクエストを受けた。それに答えるべく、兼六園内のリサーチはもちろんの事、ガイドさんや兼六園内の茶屋店主など関係者からのヒアリングを重ね、年齢や体型を問わず女性が素敵に見える制服をデザインし制作を行なった。



秋冬コレクション



ポシェット



ブローチ飾り 梅



ブローチ飾り 杜若

【開発日程】

- 2014年
- 8月5日 オリエンテーション
  - 8月—11月リサーチ・デザイン
  - 10月8日 生産工場見学  
(ヤギコーポレーション)
  - 11月5日 第1回プレゼンテーション
  - 11月19日 第2回プレゼンテーション  
パターン制作開始
- 2015年
- 1月13日 マスターパターン納品  
生産へ
  - 2月13日 秋冬物デザインお披露目会
  - 3月12日 兼六園ガイドさん  
ユニフォーム一斉着用開始
  - 5月29日 春夏物デザインお披露目会  
着用開始

# 073

## 北陸新幹線開業を祝したデザインの提案 (金沢フォーラス)



3月15日 新幹線開業の風景

平成 27 年 3 月 14 日に向けた北陸新幹線開通のカウントダウンと、それをお祝いする目的で金沢フォーラスエントランスディスプレイデザインとその実施の依頼を受託した。プロジェクト参加希望の学生に現地での説明会の実施にはじまり、委託者を含めた審査会から最終の現物工場確認まで綿密な協議を重ねた。

具体的なデザインの展開は、約一月前より梅の開花の変化を楽しむようにディスプレイの部材を定期的に交換して盛り上げを演出した。その他おみくじ的な「旅みくじ」を併設して来客した人へのアプローチと共に参加意識を持って開業に備えられるよう工夫をした。



2月16日 オープン立会い風景

【委託者】  
ヨシダ宣伝株式会社

【期間】  
2015年2月16日—2015年3月21日

【研究体制】  
プロジェクト型

【担当教員】  
角谷 修 教授 デザイン科  
環境デザイン専攻

【参加学生】  
田中 明香音 環境デザイン専攻 3年  
谷 清鳳 環境デザイン専攻 2年  
塚本 友里 環境デザイン専攻 2年  
仲津 祐哉 環境デザイン専攻 2年  
新田 梨佳 環境デザイン専攻 2年

【開発日程】

2014年

11月11日 フォーラム現地説明会  
11月19日 デザイン案審査会  
(フォーラム担当者：島田氏)  
ヨシダ宣伝担当者：東田氏)

12月1日 デザイン案最終プレゼン

2015年

1月13日 実施設計、施工の協議  
1月27日 施工の最終調整  
1月5日 サンプルの確認と協議  
2月13日 現物の工場確認  
2月15日 フォーラス現場立会い  
2月16日 オープン立会い



デザイン案の審査会風景



工場での現物確認風景

# 074

## 伊勢丹ジャパンセンスイズキャンペーン 宣伝演出の研究



素の美「金沢の風土と水」：氷引

数年前より伊勢丹が取組んでいる「ジャパンセンスイズキャンペーン」において日本国内での再発見を目的に各地を回り、その土地の良さを秘めた風土や商品を紹介する企画。

今回は、北陸をテーマとすることで石川、金沢を題材に、本学にはウィンドウディスプレイのデザインを中心に企画からデザイン案への展開、施工を担当した。デザインのテーマは、金沢の伝統と風土を掲げ、地元ならではの視点で表現を試みた。尚、具体的なウィンドウ内での構成や素材の吟味等、伊勢丹専属のデザインディレクターの指導を受けて最終的な完成となった。



素の美「金沢の風土と水」：風雨



素の美「金沢の風土と水」：石垣

【委託者】  
株式会社三越伊勢丹ホールディングス

【期間】  
2015年3月25日—2015年4月21日

【研究体制】  
プロジェクト型

【担当教員】  
坂本 英之 教授 デザイン科  
環境デザイン専攻  
角谷 修 教授 デザイン科  
環境デザイン専攻  
鏑 隆弘 教授 デザイン科  
環境デザイン専攻  
畠野 裕司 准教授 デザイン科  
環境デザイン専攻  
北村 賢哉 准教授 デザイン科  
環境デザイン専攻

【参加学生】  
上島 未紗子 環境デザイン専攻 2年  
川上 すみれ 環境デザイン専攻 2年  
中内 萌木 環境デザイン専攻 2年  
早川 真央 環境デザイン専攻 2年  
林 季里 環境デザイン専攻 2年  
平川 美帆 環境デザイン専攻 1年

【開発日程】

2014年

12月24日 概要の説明と  
デザイン案募集

2015年

1月7日、8日  
デザイン案の審査と  
日程について

1月17日 デザイン案展開の  
可能性と方向性

2月19日 デザインの改良と  
使用素材の検討

3月5日 伊勢丹での  
施工発注会立会い

3月24日 ウィンドウディスプレイ  
設置立会い

3月25日 オープン立会い



ウィンドウディスプレイの各セッション発注会立会い



ウィンドウディスプレイ設置立会い



[2014 年度 社会連携運営会議]

社会連携担当理事 ———— 村中 稔  
地域連携センター長 ———— 真鍋 淳朗  
産学連携センター長 ———— 角谷 修  
事務局長 ———— 吉本 忠則  
社会連携コーディネーター — 藤野 雅  
地域連携センター ———— 真鍋 淳朗  
よしだ ぎょうこ  
高橋 治希  
中瀬 康志  
鈴木 康雄  
北村 賢哉  
大高 亨  
産学連携センター ———— 角谷 修  
佐藤 俊介  
坂野 徹  
河崎 圭吾  
畝野 裕司  
山本 健史

[報告書制作]

編集・アートディレクション — 古場田 良郎  
編集協力・版下製作 ———— 株式会社 斉藤慶デザイン研究所  
印刷 ———— 株式会社 山田写真製版所  
発行 ———— 公立大学法人 金沢美術工芸大学  
〒920-8656 石川県金沢市小立野 5 丁目 11 番 1 号  
TEL 076-262-3531  
FAX 076-262-6594  
<http://www.kanazawa-bidai.ac.jp>  
発行日 ———— 2015 年 7 月